

県有施設等の再編に関する基本方針（最終案）について

県では、「県有施設再編等の在り方検討懇話会」における御意見等を踏まえ、施設総量の適正化の観点などから、集約・複合化を含む所管部局を横断した県有施設等の方向性を示す「県有施設等の再編に関する基本方針（最終案）」（以下「基本方針（最終案）」という。）を取りまとめました。

1 教育庁所管施設の再編方針（概要）

基本方針（最終案）で示された教育庁所管施設の再編方針は次のとおりです。

対象施設	再編方針
①宮城県民会館（東京エレクトロンホール宮城） <ul style="list-style-type: none"> ・本県の文化芸術活動の拠点 ・舞台芸術や音楽の鑑賞，発表の場 ・会議室や展示室，創作室の貸出し 	美術館については， <u>仙台医療センター跡地において，集約・複合化する方向で更に検討を進める。</u>
②宮城県民間非営利活動プラザ（みやぎNPOプラザ） <ul style="list-style-type: none"> ・民間非営利活動を総合的に促進する拠点 ・事務室，資機材の貸与による育成支援 ・NPOに関する相談，研修，各種情報発信 	
③宮城県美術館 【教育庁所管施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・美術品の収集，保存，展示 ・教育普及活動 	
④宮城県婦人会館 【教育庁所管施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・女性団体の活性化，女性の教養向上 ・研修の実施や研修室の貸出し 	<u>現エスポールみやぎ敷地において，（一財）宮城県青年会館が計画するエスポールみやぎの建替えに合わせ集約・複合化する。</u>
⑤エスポールみやぎ（宮城県青年会館） 【教育庁所管施設】 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全な育成 ・研修室の貸出しや宿泊事業等 	
⑥宮城県母子・父子福祉センター <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親等に対する各種相談，就業支援 	

2 今後の進め方

県として、美術館の現地改修と移転新築のメリット、デメリット等を分かりやすく整理した上で、県民の皆様などに説明する機会を設け、御意見を伺いながら検討を進めていくこととしています。

参考1 パブリックコメントの結果

(1) 件数 221件(209人, 4団体, その他(無記名)8)

※その他(無記名)8については, 件数のみ計上。

(2) 主な意見の類型

- ・再編案の発表が拙速, 唐突だという, 手続き, プロセスに関すること。
- ・現在の美術館の経緯, 立地環境, 文化的価値を尊重すべきだということ。
- ・再編案の具体的内容や, 財政面などのメリットが見えにくいということ。
- ・移転候補地(仙台医療センター跡地)の条件・環境等に関すること。

参考2 要望書・意見書等

	日付	団体名	件名	要望・意見等の要旨	備考
1	令和元年12月10日	まち遺産ネット仙台	宮城県美術館の現地存続についての要望書	・宮城県美術館の移転方針を見直し, 「宮城県美術館リニューアル基本方針」に立ち返り, 県民との対話の中で宮城県美術館のこれからをともに考えていくこと。	
2	令和元年12月10日	一般社団法人 日本建築学会東北支部	宮城県美術館(建物・外構等)の保存活用に関する意見書	・宮城県美術館の建築文化遺産の心的・美的・史的価値について改めて理解し, 保存活用の方途(ソフト/ハード双方の存続をはじめとする保存活用の多様な解放)を検討することが肝要である。 ・(学会として)保存活用に関して, 学術的観点からの相談を受ける。	
3	令和2年1月7日	宮城県美術館に関心と期待を寄せる有志グループ	宮城県美術館の移転, 県民会館との集約化に関する方針についてのアンケート実施結果について	・令和元年12月9日から12月23日までの期間において実施した「宮城県美術館の移転, 県民会館との集約化に関する方針についてのアンケート調査」の結果の公表。	郵送
4	令和2年1月24日	公益社団法人 日本建築家協会	宮城県美術館の存続に関する要望書	・県民や県外の人からも愛され, 地域の良好な景観と文化を支え, 建築的にも日本を代表する価値ある建築である宮城県美術館を現行のまま存続すること。	
5	令和2年1月27日	宮城県美術館の移転計画中止を要望する有志の会	宮城県美術館の移転計画中止を求める要望書	・次の4項目の理由から, 宮城県美術館の移転計画を見直し, 中止すること。(文化遺産/観光資源/教育文化環境/説明責任)	
6	令和2年1月28日	公益社団法人 宮城県芸術協会	県有施設等の再編に関する基本方針(中間案)宮城県美術館の移転, 集約化に関する要望書	・将来予測の下, 施設等の再編の方向は概ね是認できるものの, 宮城県美術館の移転, 県民会館等との集約化方針について, 違和感を持つ県民の不信感を募らせる前のめりの対応は避けること。 ・中間案を推進する場合でも, 現美術館が県内外から評価され, 多くが維持を望む状況を重く受け止め, 生かすべく知恵を尽くすこと。	
7	令和2年2月8日	宮城県美術館の現地存続を求める有志の会	宮城県美術館の現地存続に関する要望書	・県民の意思を尊重し, 集約移転を見直して, 川内という類い稀な自然豊かな地の利を生かし建築された宮城県美術館の現地で存続すること。	郵送
8	令和2年2月19日	まち遺産ネット仙台 他6団体	宮城県美術館の移転集約案についての要望書	・県の最終案において, 十分な時間をとって県民との議論を重ね, 移転集約案を最終案としないようにすること。	